

科目区分	専門教育科目	科目名	保育原理		科目コード	21Y540	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独				
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育の意義や内容、思想、歴史、制度などの基礎知識を学び、保育の現状を考察する。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実主体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育の基礎知識を理解する					△	△	◎	◎	△	△
2.	保育思想を理解する										
3.	保育制度を理解する										
4.	保育に必要な環境を理解し、考察する										
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（60%） 提出物（40%）					
講義を中心に、アクティブラーニングの姿勢が求められる。各自が努力して取り組むこと。											
課題等への対応						授業外学修時間					
オフィスアワーで対応する						週あたり60分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業説明、保育者になるために					保育者とはどのような存在かイメージしてくる					
第2回	保育の原理とは					保育とは何か、各自でまとめる					
第3回	「子どもの育ち」とつながる					子どもとは、発達とはなにか考える					
第4回	保育の行われる場所					保育施設のしくみ					
第5回	保育所保育指針・幼稚園教育要領					制度的位置づけを学ぶ					
第6回	ねらいと内容と方法					発達段階を考える					
第7回	小学校との接続					「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について考える					
第8回	日本の子育て環境を考える 夜間保育					夜間保育の役割を知る					
第9回	日本の子育て環境を考える 少子化					少子化問題について考える					
第10回	日本の子育て環境を考える 子どもの貧困を考える					子どもの貧困と解決策を考える					
第11回	子育て支援					保護者と地域のコミュニケーションを考える					
第12回	海外の保育思想と歴史					個性の発見について学ぶ					
第13回	日本の保育思想と歴史					倉橋惣三から学ぶ					
第14回	保育の現状と課題					貧困・待機児童を考える					
第15回	まとめ 保育の思想・歴史・現在					これまでの講義の振り返り					
試験	定期試験を実施する										
教科書	井上孝之・小原敏郎・三浦主博編『つながる保育原理』みらい、2018年。				受講生へのメッセージ	授業計画は状況を見て変更する可能性があります。「保育」とはどのような営みか、考えていきます。板書をノートに写すだけで満足しないでください。適宜、グループディスカッションを課し、さらにそれを自分で整理してまとめてもらいます。授業内容、同級生が話す内容の全てが保育を考える上での貴重なものです。よく集中して、講義を受けてください。					
参考書等	なし										